

第1回経営発達支援計画事業評価委員会 会議録

- 1 招集通知 令和元年 8月 6日 (火)
- 2 開催日時 令和元年 9月 2日 (月) 午後1時30分～午後2時35分
- 3 開催場所 瀬戸内市商工会2階会議室
- 4 出席者 8名
委員長 福池 幹夫 (商工会副会長)
副委員長 福崎 勇 (商工会副会長)
内部委員 石田 茂樹 (経営支援事業委員会委員長)
藤井 雅司 (経営支援事業委員会副委員長)
山口 卓男 (地域支援事業委員会委員長)
神坂 俊規 (地域振興事業委員会副委員長)
岡部 峯子 (女性部長)
外部委員 頓宮 忍 (瀬戸内市産業振興課課長)
欠席 吉近 翔大 (青年部長)

オブザーバー 元浜詳一 (商工会会長)
- 5 議長 福池 幹夫
- 6 協議事項
(1) 本年度実施事業及び事業の進捗状況について
1. 全体的な取り組み実績について
2. 経営発達支援事業について
3. 地域活性化事業について
(2) 第2期経営発達支援計画の申請について
- 7 議事の運営要領及び議案別審議の結果

午後1時30分、事務局(石井事務局長)は第1回経営発達支援計画事業評価委員会を開催する旨を宣し、続いて、元浜会長及び福池委員長があいさつを述べた。

<元浜会長 あいさつ要旨>

- ・多忙な折の出席への感謝と、慎重審議のお願いを述べた。

<福池委員長 あいさつ要旨>

- ・平成27年に5か年の「経営発達支援計画」を策定、経産省の認定を受けて、今年が5年目の最後の年である。
- ・次の5年に向けた新たな計画を策定し、更新申請の必要がある。
- ・「小規模企業振興基本計画」が見直され、去る、6月16日、第二期が閣議決定された。このことにより、以前とは方針が一部異なる部分がある。
- ・「市との連携」はその一つで大きな変更点である。
- ・5か年の商工会の支援のあり方を定義づける非常に重要な取り組みである。

続いて、事務局（石井事務局長）は内部委員で青年部長の交代により吉近翔大部長が新たに委員に就任し、外部委員は昨年に引き続き瀬戸内市産業建設部商工観光課 頓宮忍課長が就任した旨報告した。

事務局（石井事務局長）は委員会規程第6条の規定により、福池委員長に議長就任を求めた。福池委員長は議長に就任し、協議に入った。

福池議長は「（1）本年度実施事業及び事業の進捗状況について」のうち、「1. 全体的な取り組み実績について」及び「2. 経営発達支援事業について」について事務局に説明を求めた。事務局（松本課長）は資料1及び資料2に基づき説明した。福池議長は意見を求めたところ、意見はなく承認された。

続いて、福池議長は「3. 地域活性化事業について」について事務局に説明を求めた。事務局（石原課長）は資料3に基づき説明した。福池議長は意見を求めたところ、意見はなく承認された。

福池議長は「（2）第2期経営発達支援計画の申請について」について事務局に説明を求めた。

事務局（松本課長）は資料4に基づき説明した。

福池議長は意見を求めたところ、次の意見があった。

<発言要旨>

福崎副委員長：この計画はこれからの商工会の事業の柱となるもので真剣に取り組んでいかなければならないものだ。

福池議長：商工会の基本方針となる重要なものなので、皆さんの意見をいただきたい。

頓宮委員：山鳥毛を購入するかどうか今年度末に判断し、購入するという方向で話を進めているが、今現在確定していないので、表現が難しい。この資料を持ち帰り、担当部署と協議した上で、返答したい。

松本課長：9月6日に中国経済産業局へ第1稿を入稿する予定なのでそれまでに連絡

をいただきたい。

続けて、今後のスケジュールについて次の通り説明した。

9月6日に第1稿を中国経済産業局へ提出、その後、修正を経て9月26日の理事会へ上程し、経営発達支援計画の方向性と申請について決議。引き続き、ブラッシュアップを経て、正副会長会議で協議、会長決裁により11月上旬に申請する。

福池委員長：理事会で協議の上、承認をいただき、最終的には正副会長会議で協議し、申請することとしたい。

石原課長：9月26日の理事会で議案上程の予定で理事に案内しており、協議いただくこととなっている。

藤井委員：行政の手続きが難しくなっており、事業実施に時間がかかるようになってきている。事業者はそれでは間に合わないことも多く、スピーディーな対応をしていく必要がある。計画している事業が地域事業者の意見を十分に反映し、わかりやすく身近なものになっていることも大事だ。

福崎副委員長：経営発達支援計画に係る伴走型小規模事業者支援推進事業費補助金等の活用も非常に重要であるため、基礎的支援を維持しつつ、この計画による事業も取り組む必要がある。

福池委員長：商工会の支援事業も増え、また、補助事業もあり、支援策が複雑になってきている。事業者の理解は幅があり、職員が分かりやすく説明する必要がある。

福池議長は本日の協議を踏まえ、理事会へ経営発達支援計画の申請書案を提案していきたいと述べた。その他については何もなく協議は終了した。

事務局（石井事務局長）は閉会のあいさつを福崎副委員長に求めた。福崎副委員長は閉会のあいさつを述べ、会議は終了した。